

■調査概要

- 調査目的 2022年6月10日～6月15日時点の就職活動状況を明らかにする
- 調査対象 2023年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査期間 2022年6月10日～6月15日
- 調査方法 マイナビ2023の会員に対するWEBアンケート
- 有効回答 6,281 名
- 集計方法

文理男女別の全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2023年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和3年度学校基本調査(2021年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。

※ウエイトバック集計とは...アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるよう重み付けして集計すること。

※%を表示する際に小数点第二位を四捨五入しているため、%の合計が100.0%とならない場合があります。予めご了承ください。

※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合がございます。

<回答者データ>

文理男女

	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	計
回答数	1268	2680	1193	1140	6281

現住所エリア

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
回答数	191	274	2464	166	736	175	1314	338	123	498	6,279

※海外在住の回答者を除く

理系

	理系学部	理系院	計	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系	計
回答数	1466	867	2,333	410	377	208	338	162	838	2,333

【調査結果概要】

- ◆2023年卒業予定の大学生・大学院生の6月15日時点での内々定率は74.1%（前年比5.0pt増）。
- ◆内々定保有者のうち、入社予定先を決めた学生は68.5%。
決めた理由は「社風が自分に合っていると感じた」や「社員の雰囲気や人柄が自分に合っている」という回答が増加。
- ◆未内々定の学生の活動状況は、「第一志望群の企業の面接中」が最多。
「就職活動を開始したばかり」、「選考を受ける企業を選定している」は前年より増加。
- ◆内々定保有学生が最も内々定につながったと思う活動は、「自己分析」と「面接対策」が上位。
- ◆低学年でも参加可能なインターンシップ・ワンデー仕事体験プログラムがあれば「参加したかった」という学生が7割。

■口本資料について口■

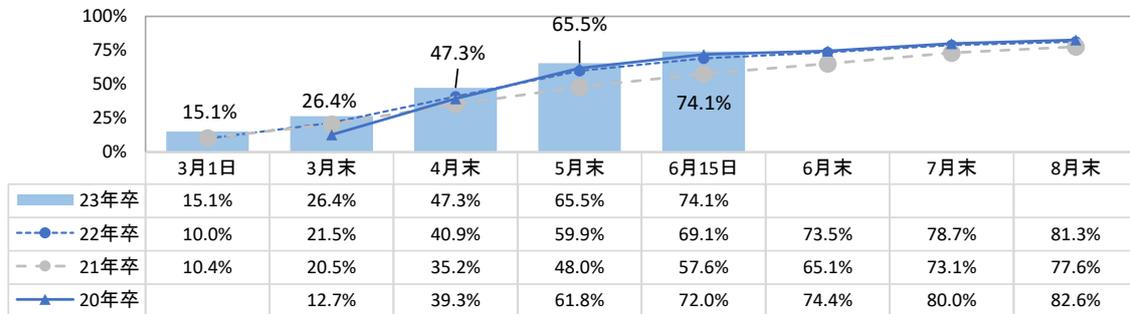
本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。
資料のご利用やご質問等に関しては下記にご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部
E-mail : myrm@mynavi.jp

【TOPICS】

◆2023年卒業予定の大学生・大学院生の6月15日時点での内々定率は74.1%（前年比5.0pt増）。

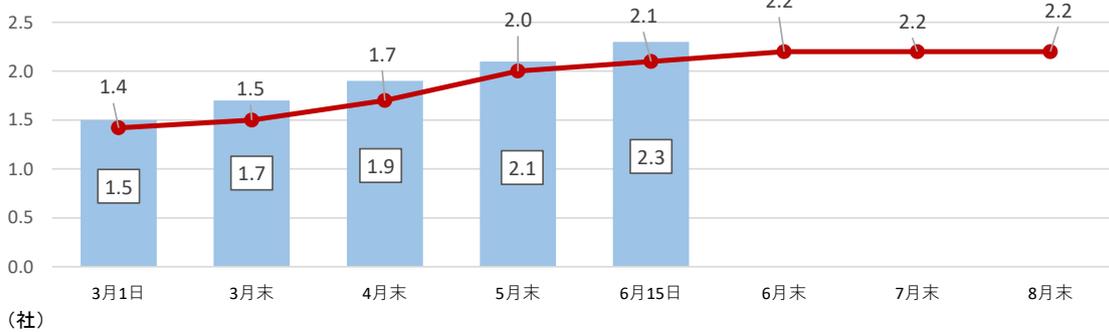
2023年卒業予定の大学生・大学院生の、6月15日時点での内々定率は74.1%（前年比5.0pt増）、平均内々定保有社数は2.3社（前年比0.2社増）であった。企業の採用意欲の高まりを受け、5月同様、内々定率・平均内々定保有社数ともに前年比増となった【図1】【図2】。

【図1】内々定率 経年比較



※3月1日時点の調査は2021年卒調査で初めて実施

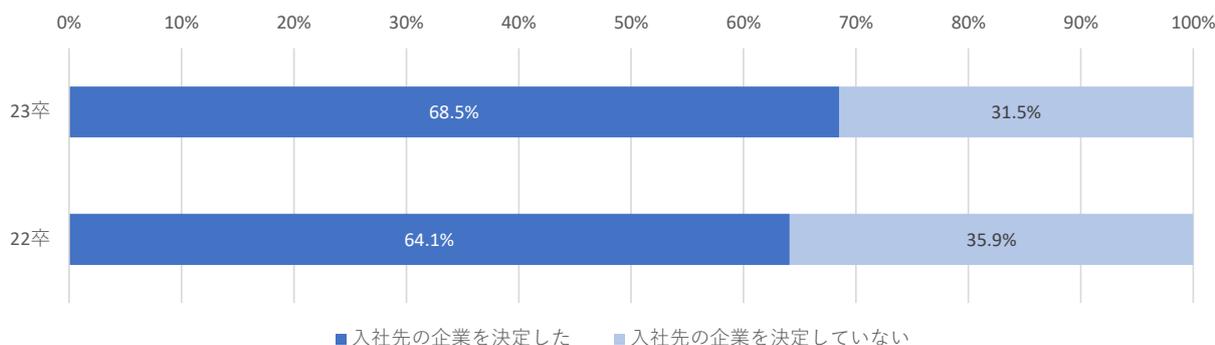
【図2】平均内々定保有社数 前年比較



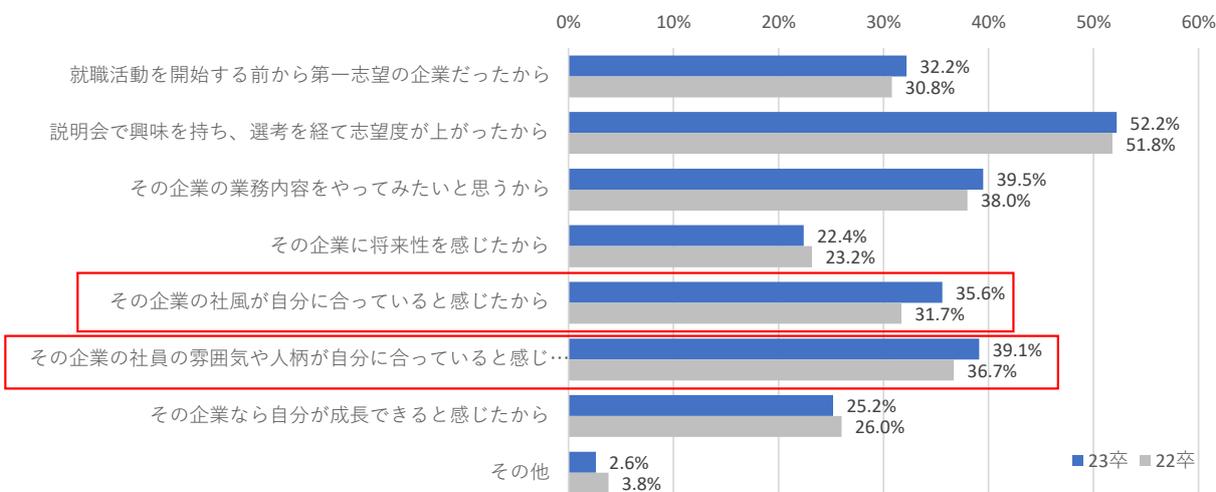
◆内々定保有者のうち、入社予定先を決めた学生は68.5%。決めた理由は「社風が自分に合っていると感じた」や「社員の雰囲気や人柄が自分に合っている」という回答が増加。

内々定を得たことがある学生のうち、現時点で入社先企業を決定していると回答した割合は68.5%で、前年比4.4pt増加した。【図3】 さらに入社先を決定した学生にその理由を回答してもらったところ、もっとも多かったのは「説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから」の52.2%であった。その他の項目についても順位は前年同様となったが、前年比で増加幅の大きかったものは「その企業の社風が自分に合っていると感じたから」(前年比3.9pt増)、「その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから」(前年比2.4pt増)であった。【図4】

【図3】(内々定保有学生限定) 入社先の企業を決めたかどうか



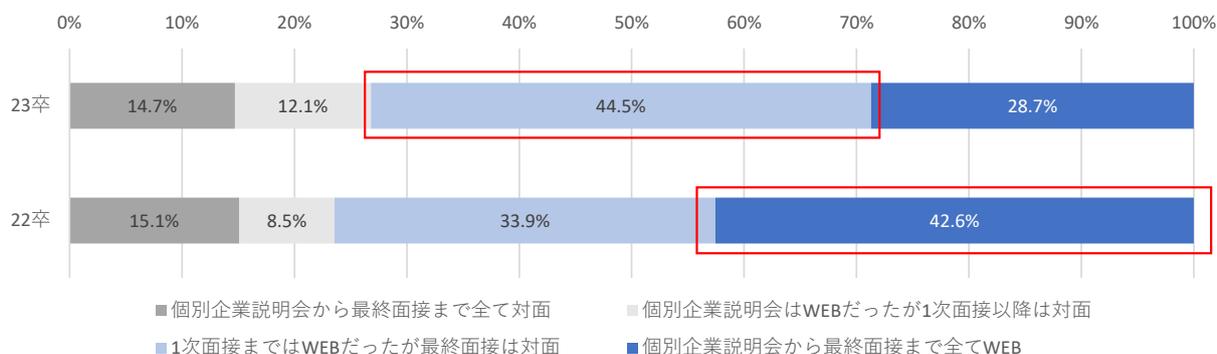
【図4】(内々定保有かつ入社先を決定した学生限定) 入社先の企業を決めた理由



なお、入社意思の最も高い企業の選考方式について、内々定保有かつ入社先を決定している学生に絞り集計したところ、最も回答が多かったのは「1次面接まではWEBだったが最終面接は対面」の44.5%で前年比10.6pt増となり、前年最も回答が多かった「個別企業説明会から最終面接まで全てWEB」は前年比13.9%減となった。【図5】入社意思の最も高い企業の選考について「全てWEB」という回答が多かった前年に対して、今年は選考の目的に応じてWEBと対面の両方を取り入れるハイブリッド化が一層進んでいることがわかる。

ちなみに「入社意思の高い企業の選考形式」と「入社先を決めた理由」をクロス集計したところ、入社先を決めた理由として「社員の雰囲気や人柄」を回答した割合は、選考形式が「全てWEB」の学生より「全て対面」の方が多くなったが、「社風」を回答した割合は、「全てWEB」の方が多くなった。【図6】WEB形式の選考でも社風を十分に感じる事が出来ている学生が多いことから、オンラインであっても自社の社風を学生に伝えようと努力や工夫をしている企業の姿が垣間見え、またその努力が功を奏していると捉えることができる。今後、選考のハイブリッド化が進む中で、これまでオンラインでは伝えづらいと考えられていた要素（社風や社員の人柄など）も、方法や内容などを工夫することでより学生に伝わりやすくなり、それにより学生側も企業選択に欠かせない判断材料をより多く得ることができるようになっていくと考えられる。

【図5】（内々定保有かつ入社先を決定した学生限定）入社意思の最も高い企業の選考形式



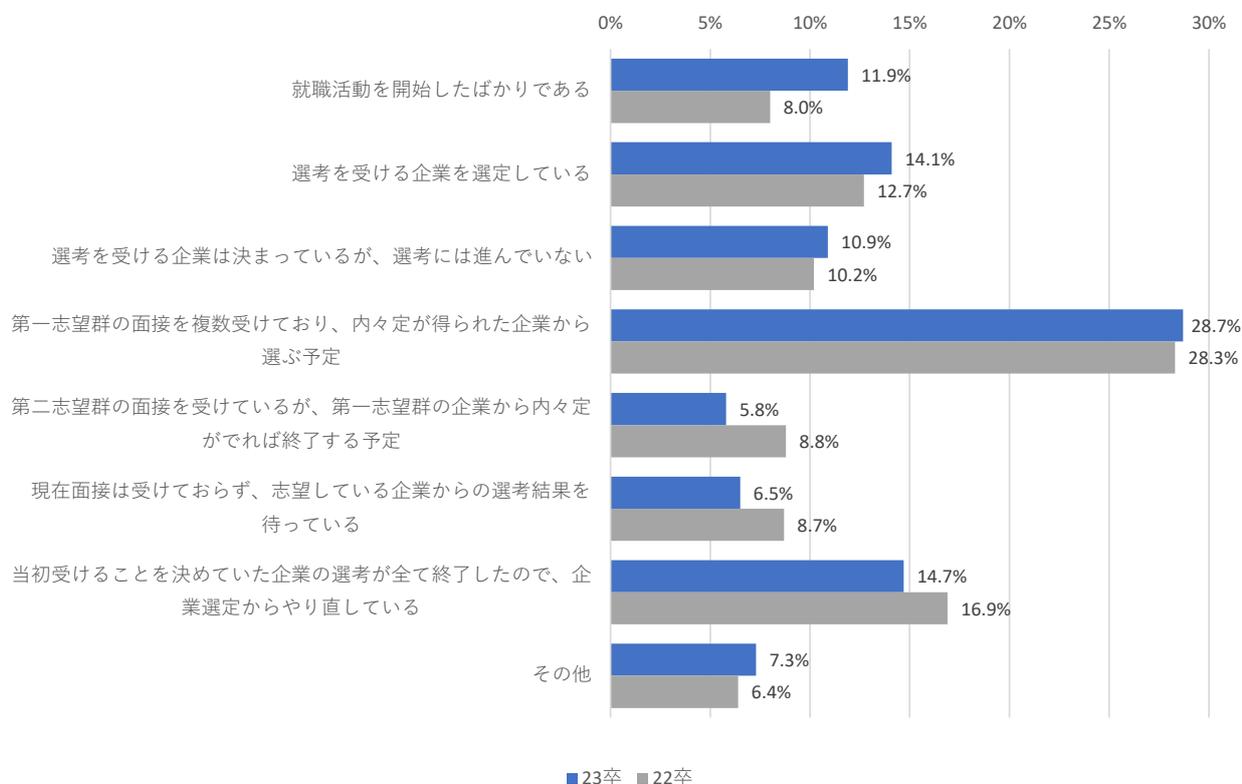
【図6】（内々定保有かつ入社先を決定した学生）「入社意思の最も高い企業の選考形式」と「入社先を決めた理由」のクロス集計

	合計	すべて対面	1次面接以降は対面	最終面接のみ対面	すべてWEB
回答者数	3021	449	366	1358	848
就職活動を開始する前から第一志望の企業だったから	32.2%	38.8%	31.3%	31.4%	30.4%
説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから	52.3%	50.1%	54.2%	53.6%	50.6%
その企業の業務内容をやってみたいと思うから	39.7%	31.5%	37.1%	41.0%	43.0%
その企業に将来性を感じたから	22.4%	17.9%	19.5%	20.5%	28.8%
その企業の社風が自分に合っていると感じたから	35.7%	31.1%	35.2%	36.3%	37.3%
その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから	39.3%	40.0%	38.2%	40.9%	36.8%
その企業なら自分が成長できると感じたから	25.4%	23.5%	20.2%	24.0%	30.6%
その他	2.6%	2.2%	4.3%	2.4%	2.4%

◆未内々定の学生の活動状況は、「第一志望群の企業の面接中」が最多。
 「就職活動を開始したばかり」、「選考を受ける企業を選定している」は前年より増加。

内々定を得ていない学生に現在の活動状況を聞いたところ、最も多かったのは「第一志望群の面接を複数受けており、内々定が得られた企業から選ぶ予定」の回答で、28.7%だった。【図7】未内々定の学生の多くも第一志望群の企業の選考に順調に進み、その結果を待っている状況のようだ。一方、「就職活動を開始したばかりである」が11.9%(前年比3.9pt増)、「選考を受ける企業を選定している」が14.1%(前年比1.4pt増)など、活動序盤の学生も一定数存在していることがわかる。

【図7】(未内々定の学生限定) 就職活動の進行状況

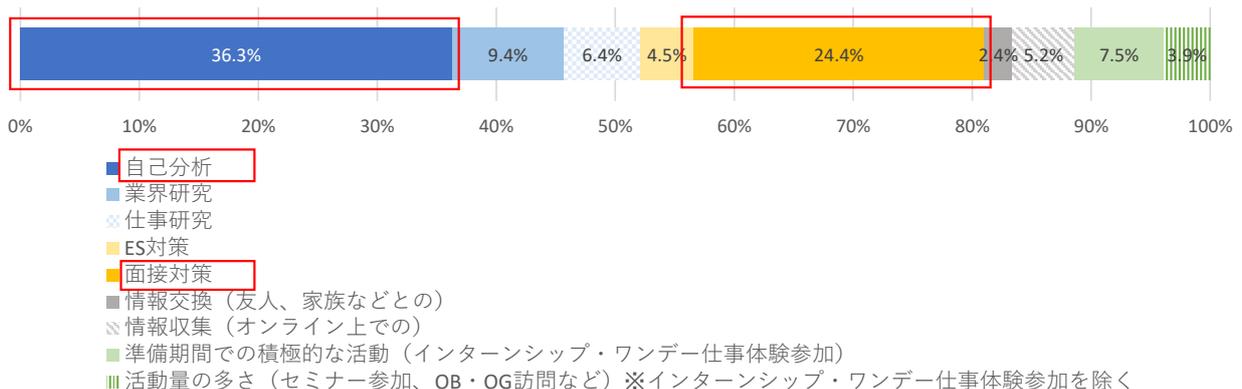


◆内々定保有学生が最も内々定につながったと思う活動は、「自己分析」と「面接対策」が上位。

内々定を得ている学生に対して、自身が注力し、その結果として内々定につながったと思う活動として一番近いものを回答してもらったところ、最も回答が多かったのは「自己分析」(36.3%)で、次いで多かったのは「面接対策」(24.4%)であった。【図8】就職活動の基盤となる自己分析と、選考を進むにつれて重要となってくる面接対策をあげた学生が多いことから、これらの活動に注力し、十分に納得のいく形で進めていくことが就職活動において重要であることがわかる。

自己分析を選んだ理由については、「自己分析がしっかりできているかどうかでESや面接が上手くいくかが決まると思うから」や「自分がどうしたいか、分からないなりに進む方向を示してくれたのは自己分析だったと思うから」など、面接対策を選んだ理由では「自己分析、業界研究はもちろん行うが、それをどう企業側に伝えられるかが最終的には大切だと感じたから」や「WEB上でも対面でも自分を一番アピールできる場が面接であると考えたから」などがあり、対策としては面接の振り返りや繰り返しの練習、キャリアセンターなどの模擬面接の活用などがあつた。【表1】【表2】

【図8】(内々定保有の学生限定) 自身が注力した結果として内々定につながったと思う活動



【表1】「自己分析」と回答した理由

理系女子	自己分析がしっかりできているかどうかでESや面接が上手くいくかが決まると思うから。選考のすべての段階においての土台になると感じた。
文系男子	面接ではこれまでに学んだことや資格などの学業面についても尋ねられたが、一方で内面についての質問が多かった。そのため自己分析を重ねることで自分が何に喜びややりがいを感じ、反対に苦手なことについて話せるように準備していたことが内々定へとつながったのではないかと考えているため。
理系女子	1番時間がかかったが、しっかりと自己分析をすることにより自分が本当にしたいことはなにか、得意なことはなにか苦手なことはなにかがわかった。それによって自然に面接でも何を聞かれてもすんなりと答えることができた。
文系女子	私は将来何をやりたいか明確にあったタイプではなく、SNSなどに溢れている就活の情報には共感ができなかったが、自分がどうしたいか、分からないなりに進む方向を示してくれたのは自己分析だったと思うから
理系女子	自分自身のことを理解してから、それを企業でどう生かされるかが大事だから。また、自分だけでは自分の性格などが理解出来ていないから、学校の自己分析テストや友人に聞くなどで理解することが重要。

【表2】「面接対策」と回答した理由

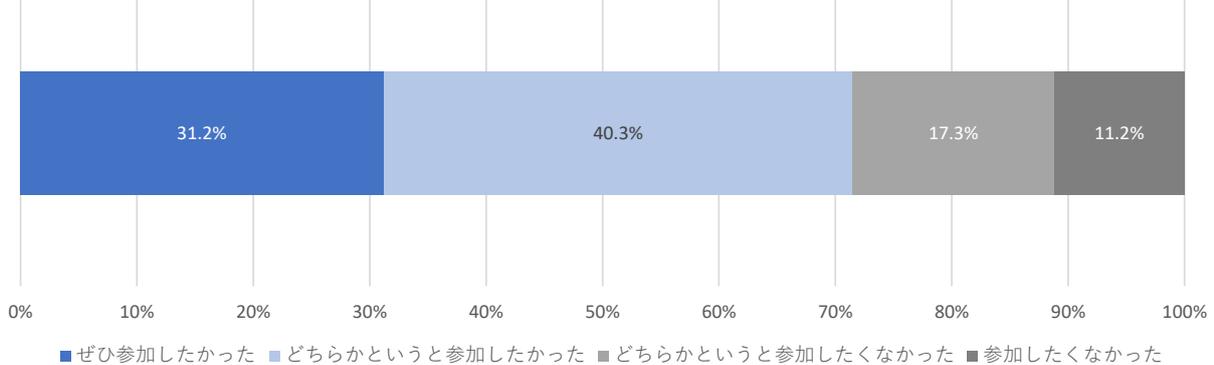
文系女子	元々緊張しやすい性格なので、キャリアセンターやハローワークで面接の前には必ず面接練習をしていただきました。企業や先行状況に応じたアドバイスがいただけるので、雰囲気や掴め、本番も緊張しすぎることなく話すことができました。
理系男子	私はアルバイトをしたことがなく面接自体が就職で初めての経験でした。うまく話せず、最終面接までは行くが、内定はいただけないことが何度もあり、面接の振り返りは念入りに行いました。特にプレゼンテーションがあるため、何度も何度も練習して、その努力が正直に伝わった結果、内定をいただけたと考えています。
理系女子	WEB上でも対面でも自分を一番アピールできる場が面接であると考えたから。実際にかしこまった内容のエントリーシートよりも自分らしさをうまく話せたことで内々定に繋がったと感じている。
文系男子	雰囲気感になれておくということの重要性を感じた。大学での模擬面接などが役立った。
文系女子	自己分析、業界研究はもちろん行うが、それをどう企業側に伝えられるかが最終的には大切だと感じたから。

◆低学年でも参加可能なインターンシップ・ワンデー仕事体験プログラムがあれば「参加したかった」という学生が7割。

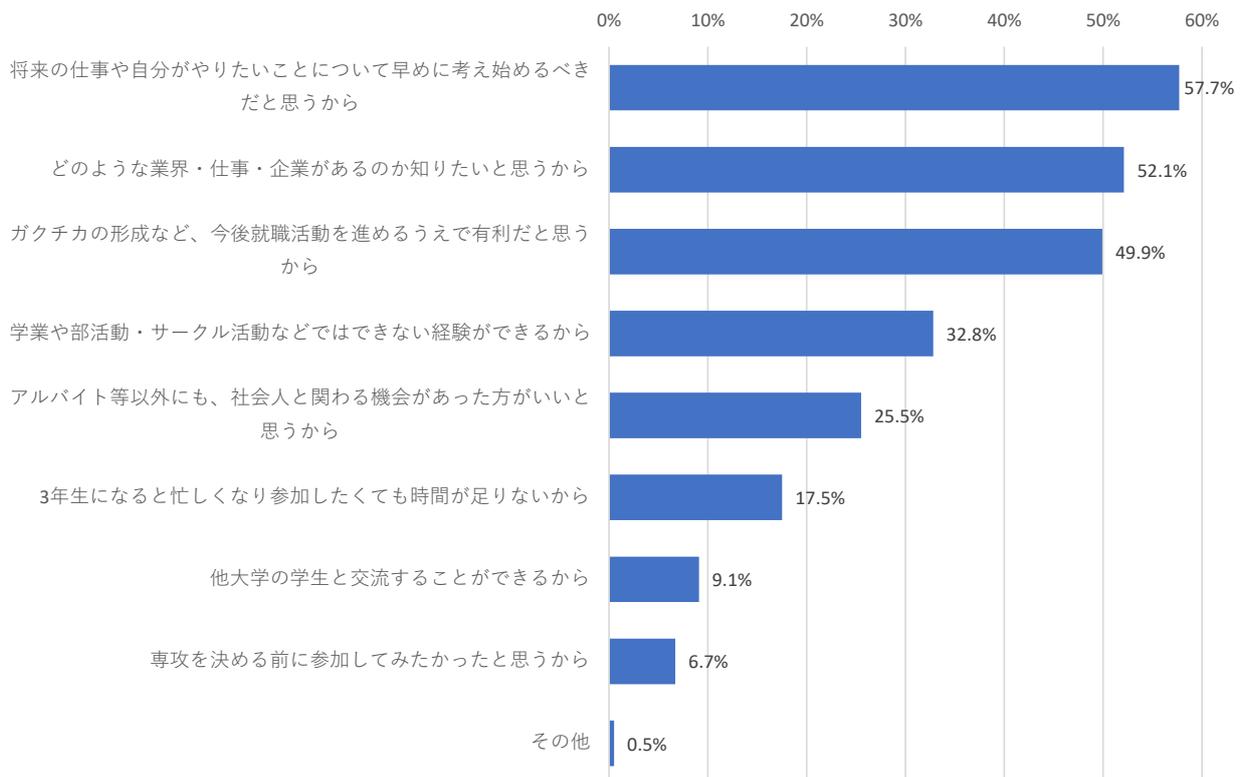
インターンシップ・ワンデー仕事体験について、低学年(大学1年次・2年次)でも参加可能なプログラムがあったとした場合、「参加したかった」(「ぜひ参加したかった」と「どちらかというに参加したかった」の合計)は71.5%となった。【図9】 参加したかったと回答した学生に対しその理由を回答してもらったところ、「将来の仕事や自分がやりたいことについて早めに考え始めるべきだと思うから」が最も多く57.7%、「どのような業界・仕事・企業があるのか知りたいと思うから」が52.1%で続いた。【図10】自身の今後のキャリアのあり方や希望、その希望にふさわしい環境としてどのような業界や企業、職種があるのかについて考えるきっかけとして、低学年でも参加可能なプログラムに対して好意的な学生が多いようだ。

一方、「参加したくなかった」(「どちらかというに参加したくなかった」と「参加したくなかった」の合計)と回答した学生は、理由として「学業を優先したい」(55.4%)、「部活・サークル活動やアルバイトを優先したいから」(54.4%)という回答が多かった。【図11】 いずれも学生時代にしかできない体験であり、注力して取り組むことで自身の知見を深掘りしたり広げるだけでなく、就職活動時にガクチカとして活かされる内容でもある。

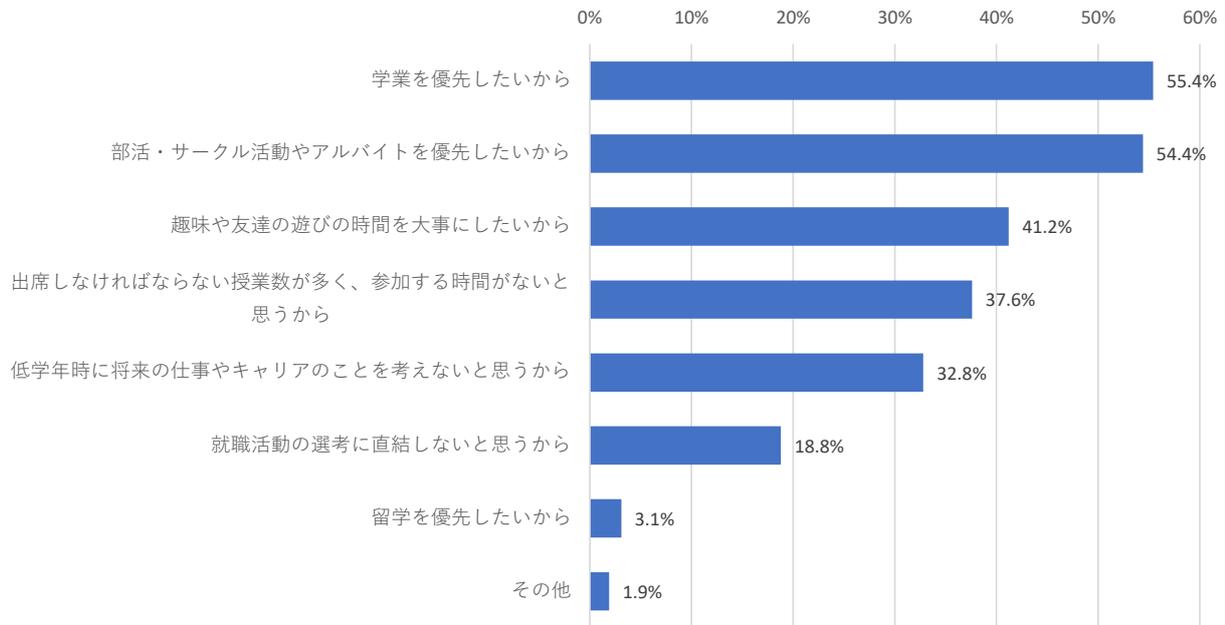
【図9】インターンシップ・ワンデー仕事体験について、低学年でも参加可能なプログラムがあったら参加したかったかどうか



【図10】(参加したかった学生) 参加したかったと思う理由

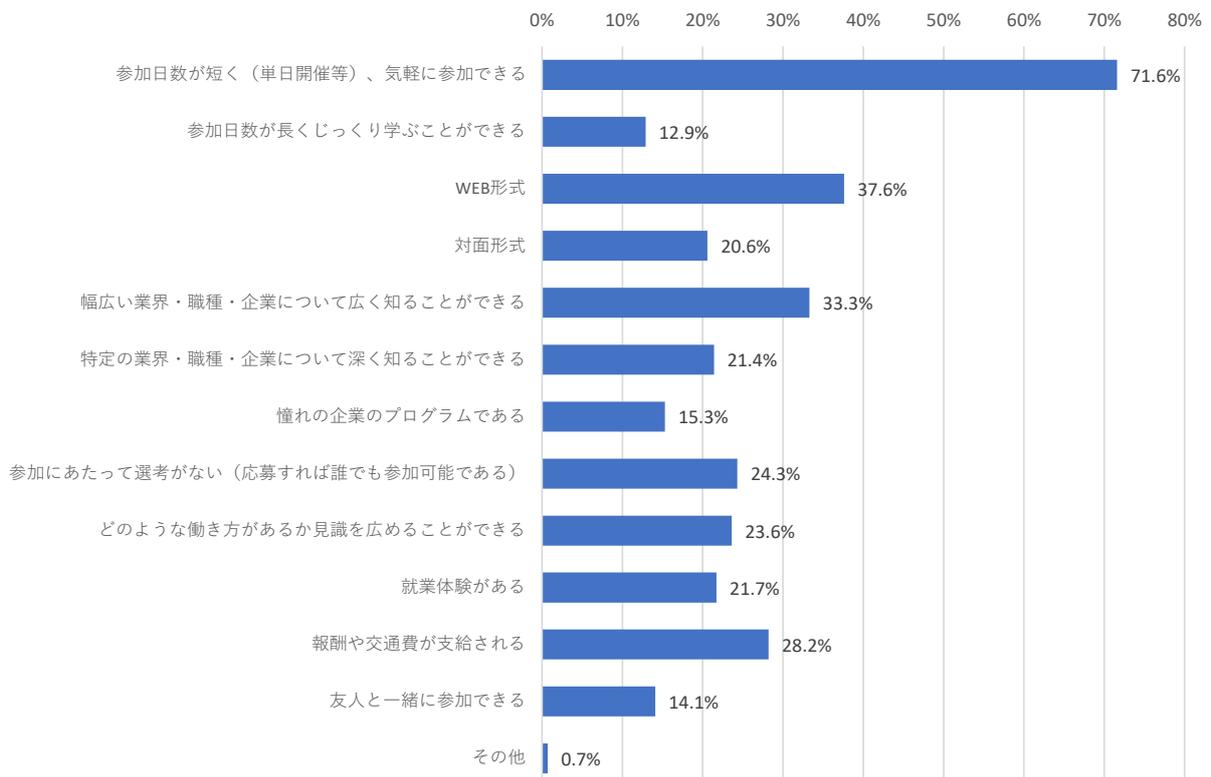


【図11】(参加しなかった学生) 参加しなかったと思う理由



なお全員を対象に「どのようなプログラムだったら参加したかったと思うか」を聞いたところ、参加日数については「参加日数が短く、気軽に参加できる」が「参加日数が長くじっくり学ぶことができる」より多く、開催形式については「WEB開催」が「対面開催」より多く、内容については「幅広い業界・職種・企業について広く知ることができる」が「特定の業界・職種・企業について深く知ることができる」より多くなった。【図12】低学年時は3年・4年次より履修必須な授業や出席日数多かったり、部活動やサークル活動といった課外活動でも中心的な役割を担うことも多い分、参加日数は短めで、WEB等により気軽に参加できるといった点や、業界・職種・企業についてもまずは大枠を幅広く知ること自身の興味・関心に合うものを見つけていきたいという思いがあるようだ。

【図12】どのようなプログラムだったら参加したかったか



<INDEX>

1. 内々定状況

- (1) 内々定率
- (2) 内々定保有社数

2. 内々定保有者の状況

- (1) 今後の活動について(就職活動継続意向)

3. 現在の活動状況

- (1) 入社意思の最も高い企業について、今までに対面の機会はあったか
- (2) 入社意思の最も高い企業について、選考当初から志望度の変化はあるか
- (3) 入社意思の最も高い企業について、選考当初から志望度が変化した理由

4. 今後の活動予定

- (1) 現時点で入社先の企業を決定しているか
- (2) 入社先の企業を決められた理由
- (3) 入社先の企業を決めていない理由
- (4) 入社先の企業を決める上で不安なことはあるか(最終面接まで全てWEBだった学生)
- (5) 入社までの期間に企業との対面の機会を希望するか

5. 6月の学生の特徴

- (1) 就職活動の進行状況
- (2) あなたが注力し、その結果として内々定につながったと思う活動(最も当てはまるもの1つ)
- (3) その活動を選んだ理由
- (4) インターンシップ・ワンデー仕事体験について、低学年(大学1年次や2年次)でも参加可能なプログラムがあったら、参加したかったか
- (5) 【参加したかったと思う方】その理由は何ですか。
- (6) 【参加したくなかったと思う方】その理由は何ですか。
- (7) どのようなプログラムだったら、参加したかったか
- (8) これまでの就職活動に対しての「納得感」について

■調査概要

- 調査目的 : 2022年6月10日～6月15日時点の就職活動状況を明らかにする
- 調査対象 : 2023年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査期間 : 2022年6月10日～6月15日
- 調査方法 : マイナビ2023の会員に対するWEBアンケート
- 有効回答 : 6,281 名
- 集計方法

文理男女別の全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2023年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウェイトバック集計を行っている。基準数値は令和3年度学校基本調査(2021年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。

※ウェイトバック集計とは...アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。
 ※%を表示する際に小数点第二位を四捨五入しているため、%の合計が100.0%とならない場合があります。予めご了承ください。
 ※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合がございます。

<回答者データ>

文理男女

	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	計
回答数	1,268	2,680	1,193	1,140	6,281

現住所エリア

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
回答数	191	274	2,464	166	736	175	1,314	338	123	498	6,279

理系

	理系学部	理系院	計	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系	計
回答数	1,466	867	2,333	410	377	208	338	162	838	2,333

1. 内々定状況

1-(1) 内々定率

内々定率 経年比較



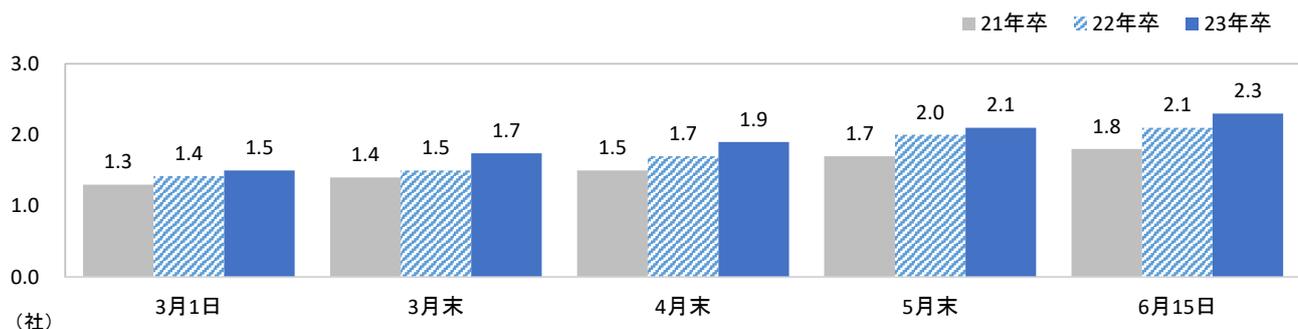
	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	6,281	1,268	2,680	1,193	1,140
23年卒	74.1%	70.5%	70.5%	80.0%	79.6%
22年卒	69.1%	65.9%	63.7%	76.5%	75.3%
21年卒	57.6%	54.4%	49.5%	68.3%	64.6%
20年卒	72.0%	68.0%	66.9%	79.6%	79.9%
19年卒	71.6%	68.1%	66.8%	79.5%	76.6%
前月比	+8.6pt	+8.5pt	+11.2pt	+6.0pt	+7.7pt
前年比	+5.0pt	+4.6pt	+6.8pt	+3.5pt	+4.3pt

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州
回答数	191	274	2,464	166	736	175	1,314	338	123	498
23年卒	66.9%	74.5%	75.1%	68.3%	76.7%	79.8%	71.7%	71.3%	83.1%	73.6%
22年卒	61.1%	71.1%	69.0%	68.6%	74.1%	81.1%	68.1%	69.2%	73.0%	62.6%
21年卒	56.9%	56.2%	55.8%	62.9%	61.8%	62.4%	52.9%	59.4%	58.5%	52.8%
20年卒	70.5%	70.0%	72.3%	72.2%	71.7%	78.4%	68.8%	77.5%	71.9%	66.4%
19年卒	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前月比	+3.3pt	+9.8pt	+9.9pt	+1.1pt	+9.4pt	+3.7pt	+7.0pt	+5.5pt	+12.8pt	+13.0pt
前年比	+5.8pt	+3.4pt	+6.1pt	-0.3pt	+2.6pt	-1.3pt	+3.6pt	+2.1pt	+10.1pt	+11.0pt

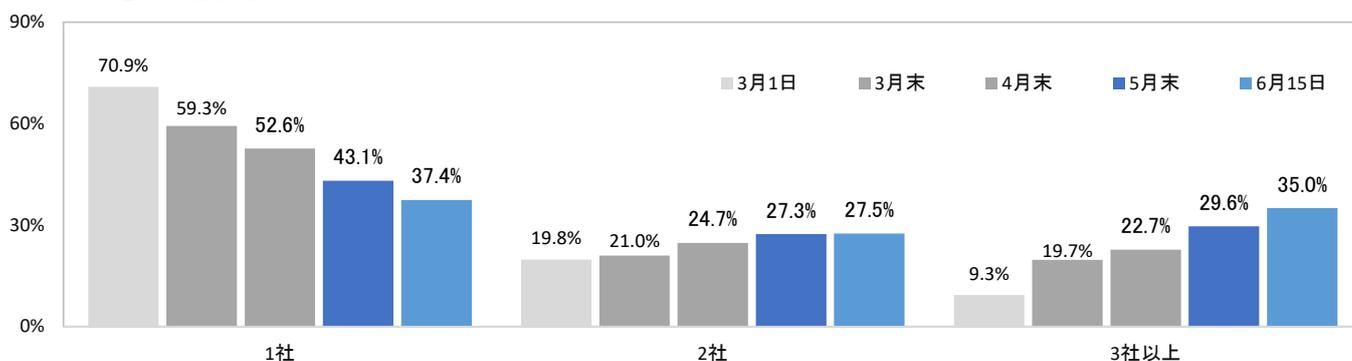
	理系全体	理系学部	理系院	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系
回答数	2,333	1,466	867	410	377	208	338	162	838
23年卒	79.8%	73.5%	89.7%	83.5%	73.1%	81.4%	87.2%	90.5%	75.2%
22年卒	76.1%	70.6%	85.5%	82.5%	70.6%	78.9%	80.2%	85.5%	70.6%
21年卒	66.4%	-	-	73.7%	69.0%	66.8%	70.3%	80.5%	59.1%
20年卒	79.7%	-	-	84.1%	76.3%	84.6%	79.4%	80.6%	78.0%
19年卒	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前月比	+6.5pt	+5.1pt	+7.8pt	+3.2pt	+0.2pt	+4.2pt	+11.3pt	+6.6pt	+10.1pt
前年比	+3.7pt	+2.9pt	+4.2pt	+1.0pt	+2.5pt	+2.5pt	+7.0pt	+5.0pt	+4.6pt

※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合もございます。

内々定保有社数(平均)経年比較



内々定保有社数分布



<全体>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,606	883	1,877	946	900
1社	37.4%	36.9%	36.9%	40.3%	34.4%
2社	27.5%	25.1%	29.9%	26.4%	29.6%
3社以上	35.0%	37.9%	33.2%	33.3%	36.0%
内々定保有社数(平均)	2.3	2.5	2.3	2.3	2.4

<22年卒 全体>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,205	996	2,119	1,100	990
1社	43.3%	44.4%	43.6%	43.5%	40.4%
2社	27.9%	25.0%	27.9%	29.5%	30.9%
3社以上	28.7%	30.6%	28.6%	26.9%	28.7%
内々定保有社数(平均)	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1

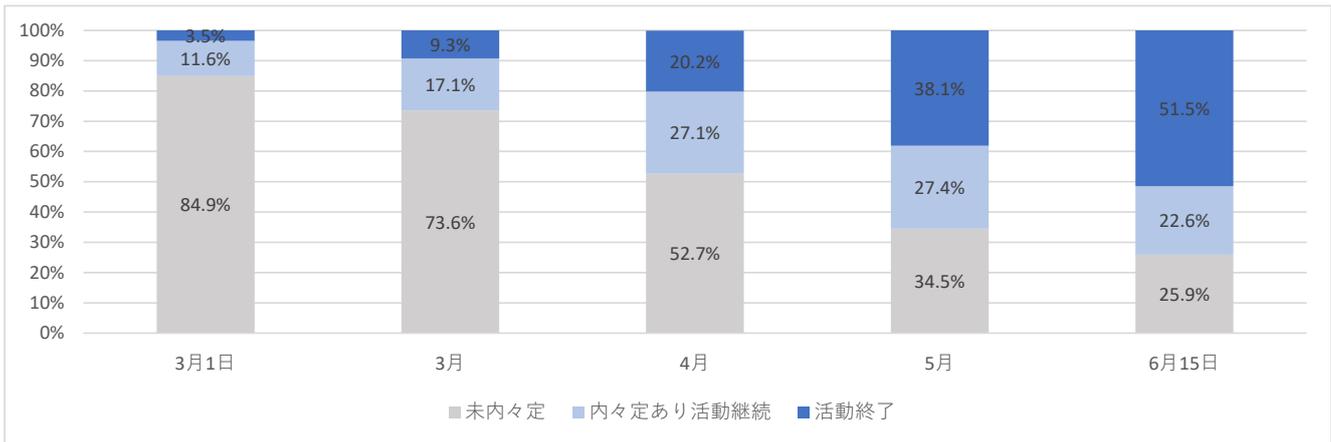
<21年卒 全体>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,018	902	2,051	1,030	1,035
1社	51.6%	50.7%	55.5%	47.7%	54.3%
2社	27.7%	28.6%	25.7%	28.8%	27.1%
3社以上	20.7%	20.7%	18.7%	23.5%	18.6%
内々定保有社数(平均)	1.8	1.9	1.7	1.9	1.8

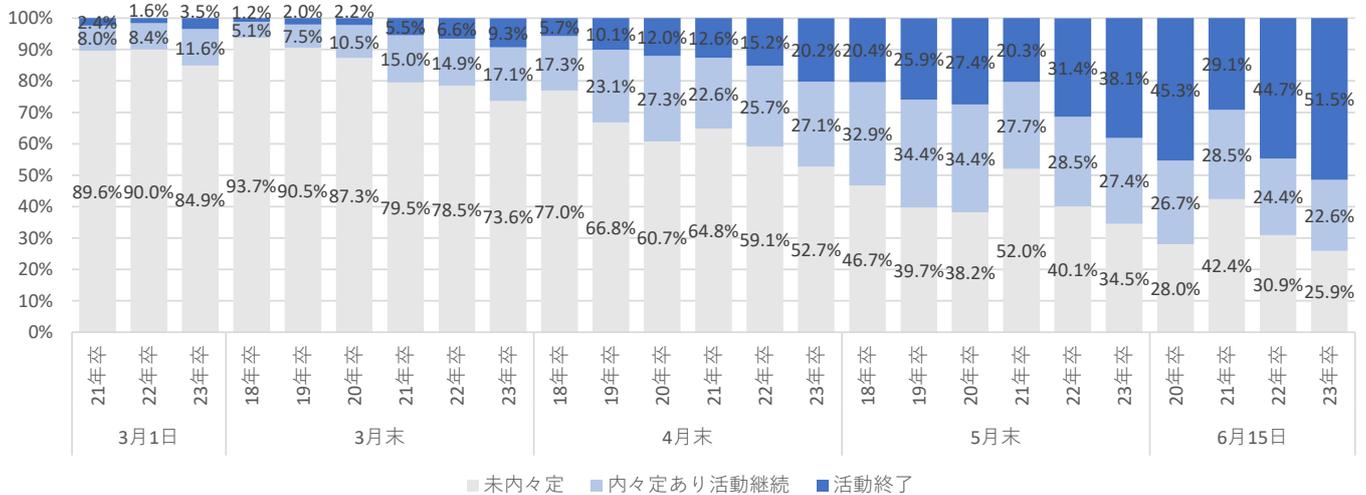
■2. 内々定保有者の状況

2-(1) 今後の活動について(就職活動継続意向)

就職活動継続意向



就職活動継続意向(経年変化)



<全体>

	23年卒	22年卒	前年比
回答数	4,596	5,201	-
内々定先に満足したので終了する	66.5%	61.7%	+4.8pt
内々定先に不満だが活動は終了する	3.0%	3.0%	±0.0pt
内々定先に不満なので続行する	8.8%	9.9%	-1.1pt
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	21.0%	24.5%	-3.5pt
その他	0.7%	0.9%	-0.2pt
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	30.5%	35.3%	-4.8pt
活動終了	69.5%	64.7%	+4.8pt
未内々定	25.9%	30.9%	-5.0pt
保有継続	22.6%	24.4%	-1.8pt
活動終了	51.5%	44.7%	+6.8pt

※保有継続率=内々定率×内々定を保有しているが活動継続(その他含む)

※活動終了率=内々定率×活動終了

<22年卒>

<文理男女別>

	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	879	1,876	941	900	996	2,118	1,099	988
内々定先に満足したので終了する	61.7%	57.4%	79.1%	71.6%	56.8%	52.8%	74.0%	66.6%
内々定先に不満だが活動は終了する	3.5%	2.5%	3.3%	2.8%	3.1%	2.3%	3.7%	2.9%
内々定先に不満なので続行する	10.7%	12.2%	4.5%	6.1%	10.2%	13.3%	6.5%	8.7%
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	23.5%	27.3%	12.5%	18.6%	28.5%	30.8%	15.4%	21.1%
その他	0.6%	0.7%	0.6%	1.0%	1.3%	0.8%	0.5%	0.7%
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	34.8%	40.2%	17.6%	25.7%	40.0%	44.9%	22.4%	30.5%
活動終了	65.2%	59.9%	82.4%	74.4%	59.9%	55.1%	77.7%	69.5%
未内々定	29.5%	29.5%	20.0%	20.4%	34.1%	36.3%	23.5%	24.7%
保有継続	24.5%	28.3%	14.1%	20.5%	26.4%	28.6%	17.1%	23.0%
活動終了	46.0%	42.2%	65.9%	59.2%	39.5%	35.1%	59.4%	52.3%

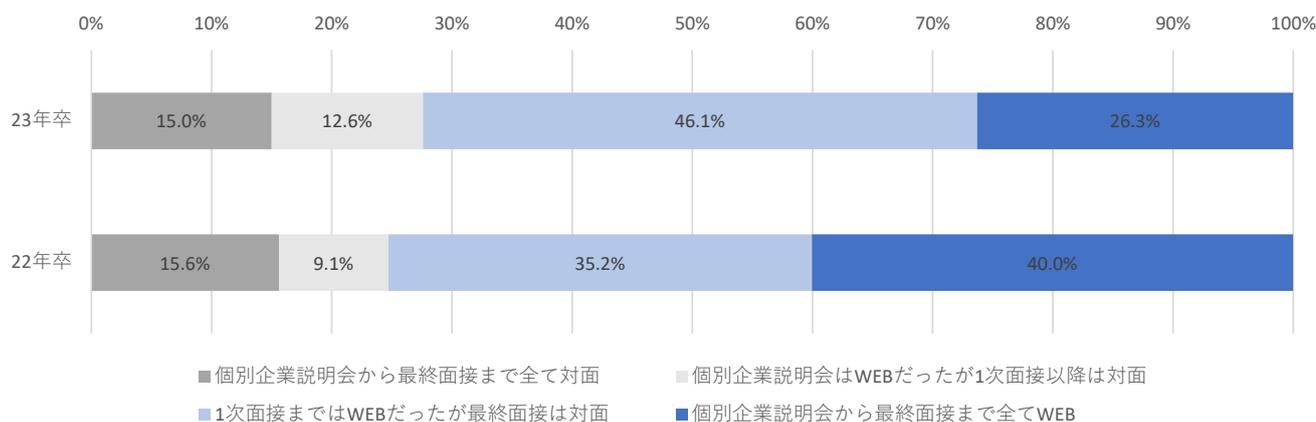
※保有継続率＝内定率×内々定を保有しているが活動継続(その他含む)

※活動終了率＝内定率×活動終了

<前年比>

	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内々定先に満足したので終了する	+4.9pt	+4.6pt	+5.1pt	+5.0pt
内々定先に不満だが活動は終了する	+0.4pt	+0.2pt	-0.4pt	-0.1pt
内々定先に不満なので続行する	+0.5pt	-1.1pt	-2.0pt	-2.6pt
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	-5.0pt	-3.5pt	-2.9pt	-2.5pt
その他	-0.7pt	-0.1pt	+0.1pt	+0.3pt
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	-5.2pt	-4.7pt	-4.8pt	-4.8pt
活動終了	+5.3pt	+4.8pt	+4.7pt	+4.9pt
未内々定	-4.6pt	-6.8pt	-3.5pt	-4.3pt
保有継続	-1.8pt	-0.3pt	-3.1pt	-2.5pt
活動終了	+6.5pt	+7.1pt	+6.5pt	+6.9pt

【内々定保有者限定】入社意思の最も高い企業の選考形式



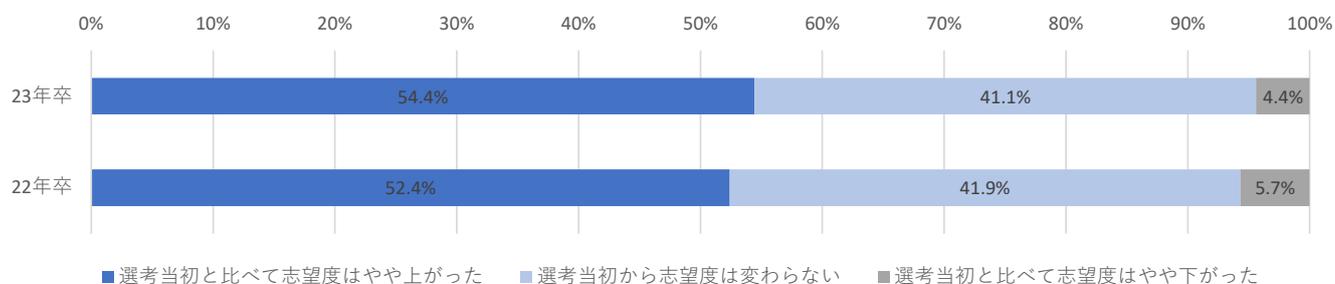
<内々定保有者>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,511	859	1,843	927	882
個別企業説明会から最終面接まで全て対面	15.0%	17.9%	16.2%	11.0%	14.1%
個別企業説明会はWEBだったが1次面接以降は対面	12.6%	14.0%	13.5%	11.3%	10.7%
1次面接まではWEBだったが最終面接は対面	46.1%	49.2%	49.9%	38.9%	45.2%
個別企業説明会から最終面接まで全てWEB	26.3%	18.9%	20.5%	38.7%	30.0%

<22年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,132	981	2,089	1,086	976
個別企業説明会から最終面接まで全て対面	15.6%	18.1%	16.7%	11.7%	15.6%
個別企業説明会はWEBだったが1次面接以降は対面	9.1%	9.3%	10.4%	8.3%	7.8%
1次面接まではWEBだったが最終面接は対面	35.2%	39.3%	37.5%	30.7%	31.0%
個別企業説明会から最終面接まで全てWEB	40.0%	33.2%	35.4%	49.4%	45.6%

【内々定保有者限定】入社意思の最も高い企業における、志望度の変化



<内々定保有者>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,548	871	1,854	935	888
選考当初と比べて志望度はやや上がった	54.4%	54.3%	58.9%	48.2%	56.9%
選考当初から志望度は変わらない	41.1%	41.9%	35.0%	48.4%	38.6%
選考当初と比べて志望度はやや下がった	4.4%	3.8%	6.1%	3.3%	4.5%

<22年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,174	987	2,105	1,098	984
選考当初と比べて志望度はやや上がった	52.4%	53.3%	55.0%	48.5%	52.5%
選考当初から志望度は変わらない	41.9%	41.5%	36.9%	48.0%	41.4%
選考当初と比べて志望度はやや下がった	5.7%	5.2%	8.1%	3.6%	6.1%

【志望度が上がった】

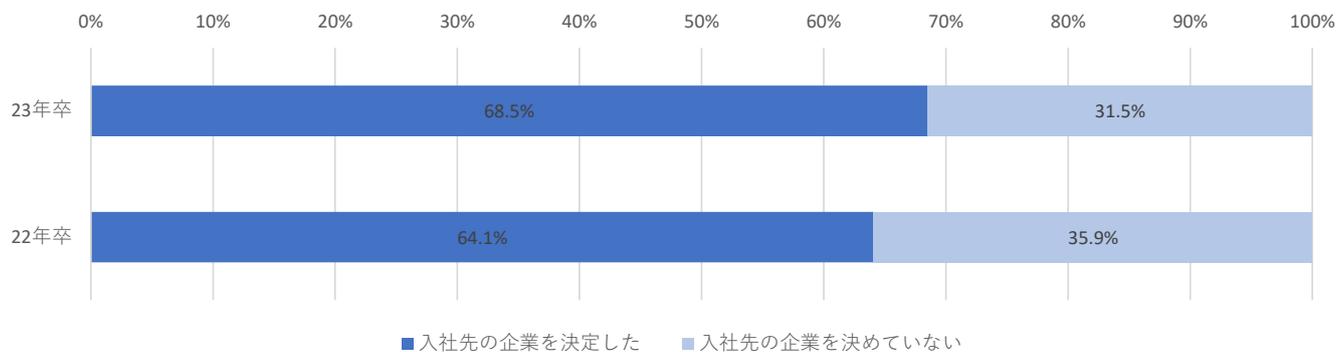
文系女子	実際に人事の方と話してみると雰囲気がよく、働きやすそうと思ったから。
文系女子	人事の方が、本当に親切にして下さって面接の前に誰が面接官なのか？どんな質問をされるのか？私はどういところが評価されてるから面接でどう振る舞えば良いのかを教えてくださいました。そんな風にして下さる方が何人もいる企業ですし、どれだけ調べても実際に働いている人も良い人ばかりでと出て来るので本当なんだと。だから志望度が上がりました。
理系女子	選考中の連絡がスピーディーであり、内々定後に迷っていたときには個人的に説明会を開催してくださったため。
理系男子	職場見学会や座談会を通して、会社の雰囲気や業務内容をイメージしやすくなったため
理系女子	選考を重ねていくうちに手厚いフォローがあったり、その会社について知る機会をいただいたため。
文系女子	面接の逆質問などを通して企業の理解が深まったから。
理系男子	企業HPの情報だけでなく、説明会や面接・面談を通じて社員の実状を知ることができた。そのおかげで自分がその企業で働くときのイメージを具体的に掴むことができた他、社員の人柄もある程度想定できたからである。
理系女子	企業研究で得た知識と面接で感じる社風や教えてもらう情報が一致していて、信頼性が上がったから。
文系女子	人事面談などを通して疑問や不安を解消できたから。
理系男子	実際に入社する事が決まると、より身近な会社に感じる事ができたから。また、社員のひととの距離も近くなり、会社生活などについても踏み込んで質問する事ができるようになったから。
文系女子	説明会の時点で十分志望度が高かったが、面接や職場見学会を通じて社風や人柄の良さを実感したことにより志望度が高まった。
文系男子	実際の企業の人に聞くことで、良い点悪い点を理解でき、実際どのような業務を行っているのかイメージが付きやすかったため。

【志望度が下がった】

理系女子	面接官の態度が悪かったから。
理系男子	選考が始まって人事の方とお話して行くうちに企業のなんとしても働きたいという意志が見え、嫌な気持ちになったから。
文系男子	配慮の足りなさなど、能力面あるいは態度面での問題を感じる。明らかに軽んじられている。もちろん学生として弁えてはいるが、まだ入社していない人に対してそのような態度を取ってしまうという事実を問題視している。
文系女子	ネットでよくない評判を見て不安になったから。
理系女子	就活を経て様々な企業を見たことで、どの企業にも良い面と悪い面があることを知った。それが自分にとっていいのか悪いのか、その基準は何なのか、曖昧になっている。このため、どの企業に行ってもよいのではという考えになりつつある。
文系女子	面接に対する対応が遅かったこと、給与形態の説明が不十分であること、残業についての説明が「事業所による」としか説明がなく、モデルケースや実態の共有が皆無であることから、長期に働き続けることに不安を感じたため。
文系女子	他の企業さんから内々定をいただくと、志望度の高い企業さんが霞んで見えてしまう。蛙化現象と似ている気がする。
文系女子	選考フローの中で連絡が遅かったり不明点が生じる等した点で、最終面接に至るまでに志望度がかなり下がった。
理系男子	内々定の代わりに他社の選考を断るよう言われたから。ただ、第一志望だったので、言う通りにした。
文系女子	最終面接で、志望していたチームに新たに人を追加する予定は今の所ないと言われたため志望度が下がった。
文系女子	面接を重ねるにあたって企業様との距離が近くなり、それ伴って相手の本心も垣間見ることが多くあった。面接中の態度が少しずつフランクになり言葉を悪くいうと、態度が悪くなっていきました。こちらは真剣に将来について考えているので、第1志望でしたが志望度は下がってしまいました。
文系男子	別の業界でも選考が進み、さまざまな事業を見ながら考え方が変わった部分もあるから。
文系女子	転勤無し希望だったが、内々定後に転勤の可能性があるとされたから

4-(1) 現時点で入社先の企業を決定しているか

現時点で入社先の企業を決定しているか



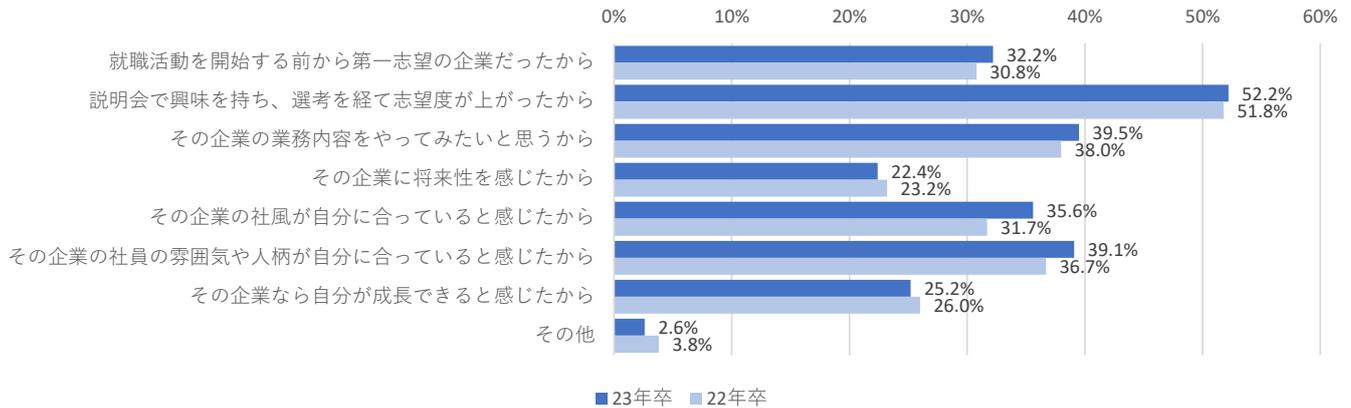
<内々定保有者>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,585	881	1,864	942	898
入社先の企業を決定した	68.5%	63.2%	59.1%	82.6%	72.0%
入社先の企業を決定していない	31.5%	36.8%	40.9%	17.4%	28.0%

<22年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,119	801	1,819	466	2,067
入社先の企業を決定した	64.1%	62.2%	61.5%	59.9%	68.1%
入社先の企業を決定していない	35.9%	37.8%	38.5%	40.1%	31.9%

【入社先の企業を決定した人限定】入社先企業を決められた理由



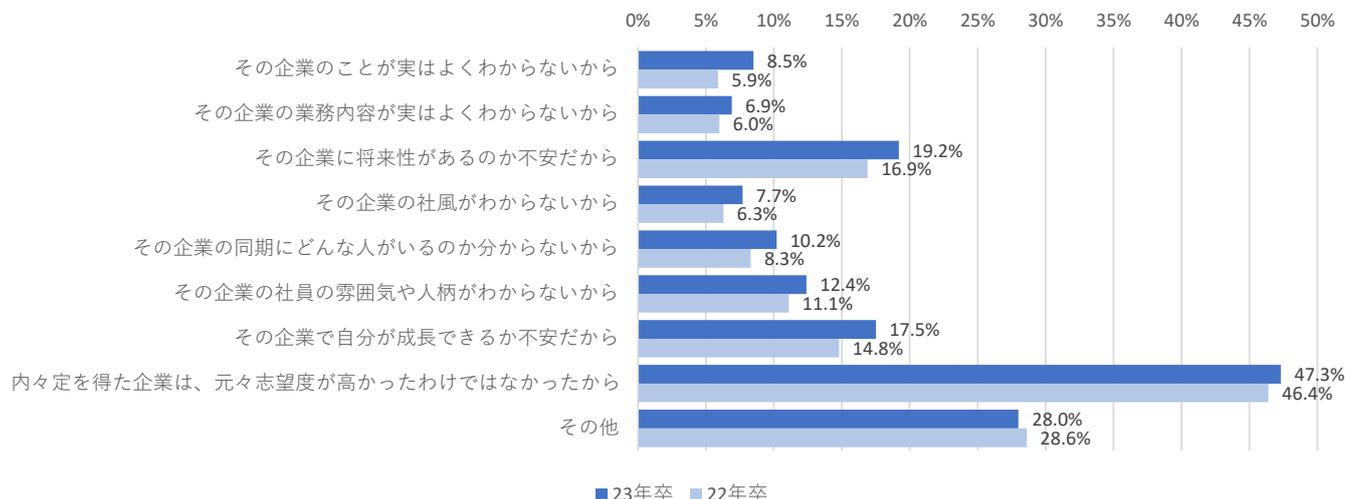
＜内々定保有者＞

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,075	554	1,100	775	646
就職活動を開始する前から第一志望の企業だったから	32.2%	33.2%	26.7%	36.5%	30.8%
説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから	52.2%	50.0%	58.9%	48.3%	53.3%
その企業の業務内容をやってみたいと思うから	39.5%	33.2%	42.3%	40.3%	44.1%
その企業に将来性を感じたから	22.4%	20.6%	20.5%	24.8%	23.5%
その企業の社風が自分に合っていると感じたから	35.6%	36.1%	40.6%	30.5%	37.2%
その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから	39.1%	37.4%	48.5%	30.7%	44.3%
その企業なら自分が成長できると感じたから	25.2%	24.5%	26.7%	23.0%	28.6%
その他	2.6%	2.2%	3.5%	1.9%	3.6%

＜22年卒＞

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,258	582	1,157	840	679
就職活動を開始する前から第一志望の企業だったから	30.8%	32.1%	25.6%	34.3%	29.3%
説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから	51.8%	52.1%	55.4%	48.1%	53.3%
その企業の業務内容をやってみたいと思うから	38.0%	31.6%	39.6%	39.4%	43.6%
その企業に将来性を感じたから	23.2%	21.1%	21.6%	25.2%	24.7%
その企業の社風が自分に合っていると感じたから	31.7%	28.7%	40.9%	28.3%	29.6%
その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから	36.7%	30.9%	47.4%	31.3%	41.2%
その企業なら自分が成長できると感じたから	26.0%	24.4%	26.8%	25.4%	28.7%
その他	3.8%	2.9%	3.9%	4.5%	3.8%

【入社先の企業を決められていない人限定】入社先企業を決められていない理由



<内々定保有者>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,469	314	749	160	246
その企業のことが実はよくわからないから	8.5%	9.9%	8.1%	6.9%	7.7%
その企業の業務内容が実はよくわからないから	6.9%	6.4%	7.9%	5.6%	6.5%
その企業に将来性があるのか不安だから	19.2%	19.7%	18.4%	18.8%	20.7%
その企業の社風がわからないから	7.7%	7.3%	8.0%	4.4%	11.8%
その企業の同期にどんな人がいるのか分からないから	10.2%	9.9%	10.7%	10.0%	9.8%
その企業の社員の雰囲気や人柄がわからないから	12.4%	12.4%	12.4%	8.8%	16.3%
その企業で自分が成長できるか不安だから	17.5%	17.5%	17.4%	20.0%	15.0%
内々定を得た企業は、元々志望度が高かったわけではなかったから	47.3%	46.2%	49.0%	45.6%	47.2%
その他	28.0%	27.1%	28.4%	28.1%	28.9%

<22年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,901	395	946	254	306
その企業のことが実はよくわからないから	5.9%	6.6%	4.7%	7.1%	5.9%
その企業の業務内容が実はよくわからないから	6.0%	6.8%	5.3%	7.1%	4.6%
その企業に将来性があるのか不安だから	16.9%	16.2%	18.1%	16.9%	15.4%
その企業の社風がわからないから	6.3%	5.8%	6.8%	5.9%	6.5%
その企業の同期にどんな人がいるのか分からないから	8.3%	8.4%	8.7%	7.5%	8.5%
その企業の社員の雰囲気や人柄がわからないから	11.1%	11.1%	11.7%	9.8%	11.1%
その企業で自分が成長できるか不安だから	14.8%	13.4%	16.7%	15.7%	11.8%
内々定を得た企業は、元々志望度が高かったわけではなかったから	46.4%	41.8%	50.6%	45.7%	47.1%
その他	28.6%	30.4%	24.7%	28.7%	35.0%

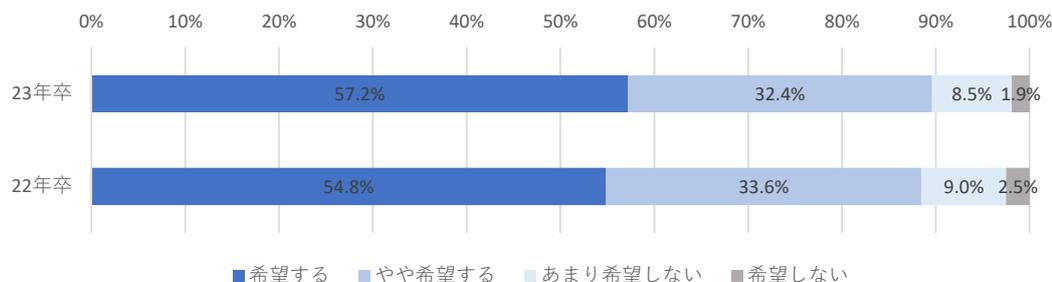
【不安なことがある】

文系女子	会社の雰囲気や社風が分かりにくいので、入社してからのイメージが着かず不安
理系女子	職場の雰囲気を直接見ることができなかったので、最終的に決定するのに色々調べたり、個別面談で聞く必要があった。
文系女子	オンラインだと実際対面で感じられる印象が異なると思うので、面接で感じられる社風を入社の判断材料にできないと感じたのが不安点でした。また、面接官に映る自身の印象も実際のもとは異なるのではないかなと感じたので、その点も不安点でした。
理系女子	WEBでの社員の方の雰囲気と実際の雰囲気にギャップがあるかどうか。その分、面談や座談会など企業を知る機会を自分から設けたり、参加するようにはしている。(企業について知るという点ではWEBでも対面でも変わらないかもしれないですが)
文系男子	実際の会社や社員の方々の様子を見たことがないという点。とはいえ、不安というほどではなく、ただ直接会って見たり聞いたりすることでその会社で働く気持ちがより増すと思うため、その機会がなかったことは残念である。
文系女子	対面でのアプローチがないため、本当に内定が貰えているか時々不安になる。
文系女子	実際の会社の雰囲気があまりわからない。例えば社員間の交流は活発なのか、オフィスは働きやすいのか、服装はどんな感じなのかなど。またオンラインだと相手の雰囲気がきちんと伝わらないため質問しづらかったり質問の答えを雰囲気から読み取るなどしにくかった。
文系女子	対面の自分が違うと思われないか
文系女子	内々定を得るまでに対面で会う機会がなかったため、社内の雰囲気が分からない。しかし今後懇親会等を開催する旨を伝えられているので、是非とも参加して社員の人柄や業務内容を知りたいと思う。
文系女子	オフィスなどの働く環境についての不安があった。しかし、WEBだったおかげで、たくさんの社員面談を設定してくれ企業理解が深まったため、利点も多かったと感じている。

【不安なことはない】

理系男子	元から入社先の企業の事をよく知っていたため、特に不安なことはなかった。
理系女子	選考自体はWEBだったが、工場見学等で対面のイベントがあったため不安はなかった。
理系女子	面接ごとに逆質問の時間を多く取ってくださっていたので、特に不安なことはない。
文系女子	面接はWebだったが夏のインターンで対面の機会があったし、内定承諾してから面談兼食事をする機会を設けていただいたので、それほど不安はない。
理系男子	一つ一つ丁寧な対応をしていただけたので不安は特別なかったです！
文系男子	実際のオフィスの雰囲気や、働いている社員の方々の雰囲気などを知ることが難しかったため、その点では若干不安はあった。しかし、Webではあるものの、社員の方との懇親会の機会を設けてくださるなど、企業側のサポートが手厚かったため、結局のところあまり不安はなかった。
文系男子	内定後に対面で会う機会があったため、特にありません。
文系女子	実際の雰囲気が分からないことが最も不安だった。しかし内々定後の面談で実際に行くことが出来たので不安は払拭された。
文系女子	選考はWEBだったが、インターンシップは対面だったため、特に不安はなかった。
理系男子	最終面接後に対面で会社見学会を行ってくれたので無い。

入社までの期間に企業との対面の機会を希望するか



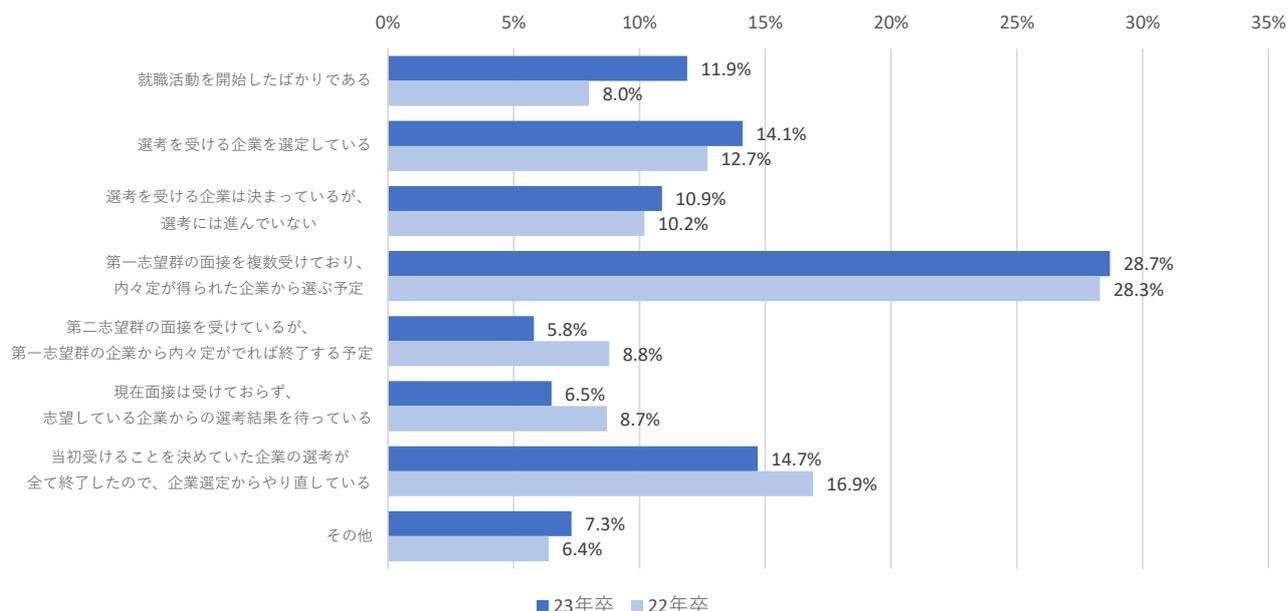
<全体>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,551	873	1,857	935	886
希望する	57.2%	60.6%	58.8%	53.6%	53.6%
やや希望する	32.4%	30.2%	30.6%	36.1%	33.7%
あまり希望しない	8.5%	7.6%	8.5%	8.1%	10.7%
希望しない	1.9%	1.6%	2.1%	2.1%	1.9%

<22年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,237	1,010	2,132	1,104	991
希望する	54.8%	58.1%	56.9%	51.8%	49.6%
やや希望する	33.6%	31.6%	32.6%	35.3%	36.5%
あまり希望しない	9.0%	7.7%	8.3%	9.8%	11.5%
希望しない	2.5%	2.6%	2.1%	3.1%	2.3%

【未内々定者限定】就職活動の進行状況



<未内々定者>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,620	369	786	235	230
就職活動を開始したばかりである	11.9%	13.3%	10.8%	12.3%	10.4%
選考を受ける企業を選定している	14.1%	14.1%	15.1%	12.8%	13.5%
選考を受ける企業は決まっているが、選考には進んでいない	10.9%	12.2%	10.4%	9.8%	10.4%
第一志望群の面接を複数受けており、内々定が得られた企業から選ぶ予定	28.7%	30.9%	27.6%	27.7%	27.4%
第二志望群の面接を受けているが、第一志望群の企業から内々定ができれば終了する予定	5.8%	4.6%	7.3%	5.1%	5.7%
現在面接は受けておらず、志望している企業からの選考結果を待っている	6.5%	4.6%	7.8%	6.0%	9.1%
当初受けることを決めていた企業の選考が全て終了したので、企業選定からやり直している	14.7%	14.1%	16.8%	13.2%	12.6%
その他	7.3%	6.2%	4.2%	13.2%	10.9%

<22年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,367	508	1,202	335	322
就職活動を開始したばかりである	8.0%	8.7%	6.4%	9.0%	9.3%
選考を受ける企業を選定している	12.7%	13.8%	13.2%	11.6%	9.3%
選考を受ける企業は決まっているが、選考には進んでいない	10.2%	9.6%	9.7%	11.0%	12.4%
第一志望群の面接を複数受けており、内々定が得られた企業から選ぶ予定	28.3%	28.3%	30.1%	25.7%	26.4%
第二志望群の面接を受けているが、第一志望群の企業から内々定ができれば終了する予定	8.8%	9.3%	8.6%	9.0%	8.1%
現在面接は受けておらず、志望している企業からの選考結果を待っている	8.7%	9.6%	8.7%	6.6%	9.0%
当初受けることを決めていた企業の選考が全て終了したので、企業選定からやり直している	16.9%	14.6%	18.6%	17.3%	18.0%
その他	6.4%	6.1%	4.7%	9.9%	7.5%

＜内々定保有者＞	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,546	873	1,854	932	887
自己分析	36.3%	39.7%	36.1%	34.5%	33.1%
業界研究	9.4%	10.5%	8.1%	9.5%	9.1%
仕事研究	6.4%	6.0%	6.6%	6.7%	6.5%
ES対策	4.5%	3.7%	4.0%	6.4%	3.5%
面接対策	24.4%	24.2%	24.9%	23.1%	26.4%
情報交換(友人、家族などとの)	2.4%	2.1%	1.7%	3.2%	3.2%
情報収集(オンライン上での)	5.2%	4.0%	6.0%	5.4%	5.4%
準備期間での積極的な活動(インターンシップ・ワンデー 仕事体験参加)	7.5%	5.7%	7.8%	8.2%	9.4%
活動量の多さ(セミナー参加、OB・OG訪問など)※イン ターンシップ・ワンデー仕事体験参加を除く	3.9%	4.1%	4.7%	3.0%	3.4%

※一部抜粋

【自己分析】

文系女子	自分のことがしっかりとわかっていればどんな質問がきてもしっかりと答えられることに気づいたから。
文系女子	人柄を重視する会社だったから。原稿を暗記する面接よりも自分の考えを素直に話す方が大切だから。そのためには自己分析をして自分の軸を整理することが大事
理系女子	自己分析がしっかりできているかどうかでESや面接が上手くいくかが決まると思うから。選考のすべての段階においての土台になると感じた。
理系男子	自分の特性についての理解が深まると一貫性のある発言が出来るようになったから。
文系女子	最終面接では、志望動機やガクチカよりも、自分自身がどんな人間であるかを探るような質問が多かったため。
理系女子	自己分析7割、企業研究3割だと感じた。自分の性格・経験と企業とのマッチする部分を意識して話すことが重要だと感じた。
文系男子	面接ではこれまでに学んだことや資格などの学業面についても尋ねられたが、一方で内面についての質問が多かった。そのため自己分析を重ねることで自分が何に喜びややりがいを感じ、反対に苦手なことについて話せるように準備していたことが内々定へとつながったのではないかと考えているため。
理系女子	自分の適性と企業との相性をよく知ることが重要であると考えたため。
理系女子	1番時間がかかったが、しっかりと自己分析をすることにより自分が本当にしたいことはなにか、得意なことはなにか苦手なことはなにかがわかった。それによって自然に面接でも何を聞かれてもすんなりと答えることができた。
文系女子	私は将来何をやりたいか明確にあったタイプではなく、SNSなどに溢れている就活の情報には共感ができなかったが、自分がどうしたいか、分からないなりに進む方向を示してくれたのは自己分析だったと思うから
文系女子	面接では終始自分の言葉で話すことを重視されていたように感じたから。
理系女子	自分自身のことを理解してから、それを企業でどう生かせるかが大事だから。また、自分だけでは自分の性格などが理解出来ていないから、学校の自己分析テストや友人に聞くなどで理解することが重要。

【面接対策】

理系女子	緊張しやすい性格なので、とても練習した。
文系女子	元々緊張しやすい性格なので、キャリアセンターやハローワークで面接の前には必ず面接練習をしていただきました。企業や先行状況に応じたアドバイスがいただけるので、雰囲気や掴め、本番も緊張しすぎることなく話すことができました。
文系男子	雰囲気感になれておくということの重要性を感じた。大学での模擬面接などが役立った。
理系女子	WEB上でも対面でも自分を一番アピールできる場が面接であると考えたから。実際にかしこまった内容のエントリーシートよりも自分らしさをうまく話せたことで内々定に繋がったと感じている。
理系女子	面接練習に力を入れたことで、就職活動を始めた当初に比べ、面接で自分が伝えたいことを話すことができていくから。
文系女子	自己分析、業界研究はもちろん行いが、それをどう企業側に伝えられるかが最終的には大切だと感じたから。
文系男子	採用担当者、人事部長、営業職の社員、社長というように面接官が各面接で異なり、様々な視点から会社とのマッチングを見られていたと感じているから。
理系男子	私はアルバイトをしたことがなく面接自体が就職で初めての経験でした。うまく話せず、最終面接までは行けず、内定はいただけないことが何度もあり、面接の振り返りは念入りに行いました。特にプレゼンテーションがあるため、何度も何度も練習して、その努力が正直に伝わった結果、内定をいただけたと考えています。
文系女子	面接は何度やっても緊張するので、回答をあらかじめ作っておかないと、焦ってパニックになるので、面接対策が必要だと思いました。
文系男子	アドリブ力がないため、面接で問われやすい質問をピックアップして対応した。
文系女子	全ての質問に対して回答を用意することは難しいため、その場で考えて言葉として出力する練習を、多くの人と経験したことが本番で活きたと考えるから。
理系男子	人柄と能力重視の会社なので、自分らしさをアピールできるようにしたくて

【業界研究】

文系女子	様々な企業の話聞いた上で志望企業の良さや強みを改めて理解し、面接やエントリーシートでのアピールにも活かされたから。
文系女子	業界内でその会社はどのようなことに力を入れているのか、またそれが自分のやりたいことに当てはまっているのかを考えることができたからです。就職活動を行う上での軸として、「風通しの良い社風かどうか」ということを重視しておりましたが、業界内で風通しが良いところを比較できたので、業界研究を念入りに行っていたよかったと思います。
理系男子	元々その業界が第一希望で同業他社を複数受けていた。その中で、会社の業界の中でも秀でている部分や特徴を面接などで話せると面接官の受けもよく、その企業への本気度も見せることができると思う。また、企業、業界研究をしておくことで、面接時に想定していない質問が来ても自分なりに解釈をして、受け答えをすることができたので、業界研究は最も大事だと思う。
理系女子	自己分析と迷いましたが、いくら自己分析を頑張っても、その企業に自分の性格が合っていないければ、内々定までは辿り着かなかったと思います。でするので、内々定を頂けたのは、やはりホームページやインターンシップ、説明会などを通して、その企業のことを深く調べて知り、理解して選考に参加できたからだと思います。

【仕事研究】

理系男子	自己分析、業界分析を前提とし、それを仕事とどう結んで話すかが大事だと考えている。そこで、仕事への理解は最も大事だと思った。
文系男子	深くまで学んでおくことで、面接官に対して熱意を伝えられたと考えている。また同時に、仕事研究をすることで、自分が本当にその会社で働きたいかを考え直し、改めて納得した上で、自信を持って選考に進むことができたから。
理系女子	希望の職種に就きたいという熱意を面接で見せるためには、職種についてより詳しく知る必要があると考えたから。
文系女子	その業界、仕事内容を深く研究、理解することを最も大事にしました。調べていくうちに分からないことが絶対出てくるため、面接の際質問したり深い内容で面接官と話すことができた。

【ES対策】

文系女子	ESを書くうちに自己分析も深まり、結果的に面接でも答えやすくなったから。
文系女子	ESに力を入れ、書き出しなどを工夫したらほぼ通過することができたから。ESが通らないとそもそも選考の土俵にも立てないため、大事にした。うまく面接官の印象に残ったようで、面接の際にESの書き方を褒められることもあった。
文系女子	就職課の方とたくさん面談を重ねて、その中で添削をしていただきながら、企業に納得していただけるようなESを作り上げられたと思ったからです。
理系男子	初めはESの通過率に苦労していました。そこから友人等に意見を求めて改良した結果、通過率が飛躍的に向上しました。他の対策も重要ですが、まずはESを通過しないと始まらないと実感しました。

【情報交換(友人、家族などの)】

文系女子	それぞれの業界に必要なことをその業界の面接経験者の友人に聞いて対策できたから。
理系女子	一人で考えることも大事だが、他人との会話で悩みが解消したり、思ってもみなかった視点を得ることができたから。またそのアドバイスを参考にすることで実際の選考で功を奏したことが複数回あったから。
理系女子	自分では頑張って情報を集めているつもりでも知らないことがたくさんあることを、友人と話していて実感しました。そこで友人と情報交換の機会を週に1回程度設けました。週に1度の情報交換でESの書き方や面接の話し方、また、受験する企業の特徴など、自分の知らなかったことをたくさん知ることができ、逆に相手が知らない情報も提供することで、お互い良い情報交換を行うことができたように感じます。
文系女子	世間の目や家族の意見は大切で、自分では見えないところも見えてくれる。

【情報収集(オンライン上での)】

理系女子	自分のことはある程度わかっていると面接等で答えることができるが、それ以外の情報はしっかりネット等で調べないとわからないことであり、それが面接で聞かれることがあるから。
文系女子	オンライン上で情報収集をこれ以上できないというほどした結果、自分のやりたいことも見えてきたし、その企業がどのような性格を持っているのか、どんな人がそこに合っているのかが自然と分かってきたから。そして、自分がやってみたいことや企業のどこに惹かれたのかを面接で心から嘘偽りなく伝えられたことが最終面接で満点近い点数につながったと思う。
文系女子	オープンチャット等で事前に面接のどこが肝なのかを確認しておくことで、事前準備や心の持ち用が変わるから。
文系男子	企業のIR情報や将来の展望など、実際に面接で聞かれた内容と関連する情報があつたため。

【準備期間での積極的な活動(インターンシップ・ワンデー仕事体験参加)】

理系女子	早い段階から情報収集を開始し、様々な企業のワンデー仕事体験に参加したため。
文系女子	インターンシップや説明会で、積極的に挙手をしたり、同じ就活生や人事の方とコミュニケーションを取ることとで、この場の雰囲気良くしたい、絶対にこの会社に入社したい、という積極性をアピール出来たと思っ ているからです。
理系女子	インターンシップに3年夏のうちから参加したことによって、社会人とのコミュニケーションに慣れることができ ただけではなく、自分がどんな企業に魅力を感じるのかが分かってきたから。また、3年夏のうちから就活を 始めることによって、忙しい時期を分散することができたから。
理系女子	夏のインターンやワンデー参加で、企業理解が大分深まり、本選考の際に企業調べで時間を取られること がなかったから。ES対策や面接対策に時間を取ることができたのが、良かったと思う。

【活動量の多さ(セミナー参加、OB・OG訪問など)※インターンシップ・ワンデー仕事体験参加を除く】

文系女子	説明会やイベントの参加などで縁を得られた企業も多く、やはりまずは動いてみるのが一番だと感じたた め。
文系男子	企業説明にたくさん出たが、その中で就活についての考え方や就職についての考え方など たくさんの考え 方を経営者や人事の方から聞くことができ面接などの選考過程にそういった考え方はとてもよく役立っ た。
文系男子	希望の業種・業界が定まっておらず、合同説明会等に数多く参加し複数の業界を知ることができた。そして 合同説明会ではセミナー形式の対策があり、ついでに参加していた。結果的に面接・ESの対策が多くでき、 結果に繋がったのだと思う。

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	6,281	1,268	2,680	1,193	1,140
ぜひ参加したかった	31.2%	34.1%	30.7%	29.5%	28.5%
どちらかというに参加したかった	40.3%	38.3%	42.2%	39.2%	42.8%
どちらかというに参加したくなかった	17.3%	15.4%	17.4%	18.6%	18.7%
参加したくなかった	11.2%	12.2%	9.7%	12.7%	10.0%

5-(5) 【参加したかったと思う方】その理由は何ですか。

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,280	857	1,867	783	773
学業や部活動・サークル活動などではできない経験ができるから	32.8%	37.1%	28.7%	34.0%	30.5%
ガクチカの形成など、今後就職活動を進めるうえで有利だと思うから	49.9%	50.1%	54.8%	44.4%	47.7%
将来の仕事や自分がやりたいことについて早めに考え始めるべきだと思うから	57.7%	52.0%	63.2%	53.5%	64.9%
アルバイト等以外にも、社会人と関わる機会があった方がいいと思うから	25.5%	24.3%	28.2%	21.8%	28.1%
どのような業界・仕事・企業があるのか知りたいと思うから	52.1%	45.5%	58.5%	51.3%	53.2%
他大学の学生と交流することができるから	9.1%	10.5%	8.8%	8.3%	8.4%
3年生になると忙しくなり参加したくても時間が足りないから	17.5%	14.1%	20.0%	15.2%	23.4%
専攻を決める前に参加してみたかったと思うから	6.7%	5.0%	5.9%	8.7%	8.5%
その他	0.5%	0.1%	0.4%	1.0%	0.6%

5-(6) 【参加したくなかったと思う方】その理由は何ですか。

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,702	330	695	362	315
学業を優先したいから	55.4%	47.6%	51.7%	65.5%	60.0%
部活・サークル活動やアルバイトを優先したいから	54.4%	60.6%	57.1%	48.9%	46.3%
留学を優先したいから	3.1%	3.9%	4.2%	1.7%	1.9%
出席しなければならない授業数が多く、参加する時間がないと思うから	37.6%	29.7%	43.7%	35.9%	44.4%
低学年時に将来の仕事やキャリアのことを考えないと思うから	32.8%	29.7%	37.6%	29.8%	35.2%
就職活動の選考に直結しないと思うから	18.8%	19.1%	21.2%	16.0%	19.0%
趣味や友達との遊びの時間を大事にしたいから	41.2%	42.1%	48.9%	35.4%	34.3%
その他	1.9%	1.5%	2.2%	2.2%	1.6%

5-(7) どのようなプログラムだったら、参加したかったか

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	6,281	1,268	2,680	1,193	1,140
参加日数が短く(単日開催等)、気軽に参加できる	71.6%	68.3%	73.7%	71.2%	74.7%
参加日数が長くじっくり学ぶことができる	12.9%	14.0%	12.1%	13.2%	11.7%
WEB形式	37.6%	33.7%	39.2%	38.0%	42.4%
対面形式	20.6%	20.9%	20.5%	20.3%	20.7%
幅広い業界・職種・企業について広く知ることができる	33.3%	29.5%	41.0%	28.2%	33.8%
特定の業界・職種・企業について深く知ることができる	21.4%	20.2%	21.1%	21.5%	24.3%
憧れの企業のプログラムである	15.3%	13.0%	17.4%	14.1%	17.5%
参加にあたって選考がない(応募すれば誰でも参加可能である)	24.3%	17.7%	32.5%	19.2%	29.7%
どのような働き方があるか見識を広めることができる	23.6%	18.5%	27.9%	22.1%	28.1%
就業体験がある	21.7%	17.6%	24.6%	21.0%	25.5%
報酬や交通費が支給される	28.2%	26.0%	28.1%	29.8%	30.7%
友人と一緒に参加できる	14.1%	11.5%	17.1%	12.2%	16.2%
その他	0.7%	0.9%	0.4%	0.8%	0.6%

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	6,281	1,268	2,680	1,193	1,140
十分に納得できる就職活動ができている	31.1%	31.0%	24.5%	37.5%	34.6%
ある程度納得できる就職活動ができている	38.5%	36.7%	39.6%	38.1%	40.9%
どちらともいえない	14.6%	14.9%	16.9%	12.5%	12.1%
あまり納得できる就職活動ができていない	11.1%	11.2%	13.8%	8.2%	9.6%
まったく納得できる就職活動ができていない	4.8%	6.2%	5.1%	3.7%	2.8%